

日本環境安全事業ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会  
東京事業部会

JESCOでは、平成21年2月27日（金）に専門の知識と経験を有する学識経験者で構成されるポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会（主査：永田勝也 早稲田大学理工学部教授）を開催し、東京PCB廃棄物処理施設における操業状況について報告し、審議検討をいただきました。

検討の概要

(1) 東京PCB廃棄物処理施設における操業状況について

事務局より資料に基づき、平成20年度における操業状況、環境測定結果、トラブル発生状況及び設備改善状況等について説明を行った。主な意見は以下のとおり。

- ・ 水熱分解設備冷却器へ析出物付着については、極力前処理工程から流入を防ぐ対策を検討すること。
- ・ 排気系のDXNsについては引き続き、測定を継続し監視を怠らないこと
- ・ 処理計画数の考え方を具体的に示すこと。
- ・ 処理計画、処理実績については5事業所共通な様式で示されたい

(2) 東京PCB廃棄物処理施設の作業安全衛生状況について

事務局より資料に基づき、作業安全衛生状況について説明を行なった。

主な意見は以下のとおり。

- ・ 検査室の作業環境測定を検討すること。
- ・ 手袋等の各種分析データは資料に記載するとも可能な限り対外的に公開したらどうか
- ・ コンデンサ解体室の作業環境濃度を継続的に測定し対策を進めること。